

第2章 社会経済トレンドの影響を 踏まえた愛知・名古屋の 成長戦略の方向性

第2章 社会経済トレンドの影響を踏まえた愛知・名古屋の成長戦略の方向性

○第1章で提示した社会経済トレンドを受けた課題を踏まえ、今後の愛知・名古屋の成長戦略の方向性を整理した。

1. 愛知・名古屋の成長戦略を検討するうえでの視点

①フルセット、すり合わせ型のモノづくり力を生かす

○自動車産業は、愛知県の主力産業であり、いまや、日本が世界との競争に打ち勝つことのできる数少ないリーディング産業の一つである。

○その強みを大胆に指摘すれば、燃費、走行性能、耐久性、あるいはデザインといった自動車の基本機能を高い次元で実現する技術開発力もさることながら、最終組み立て工場を中心に、様々な素材、部品を製造する機能を地域がフルセットで備え、さらにその開発、設計段階から部品メーカーとともにすり合わせを行い、高い現場力に支えられて、新製品の開発や製品の品質の確保のみならず、生産コストの低減、製造工程の合理化において、他社に先んじた取組をしてきたからに他ならない。

○もちろん、自動車産業もグローバル化の大きな流れの中にあり、これまでの主要市場である欧米、そして巨大市場となるアジアにおいて生産拠点を形成し、関連する生産機能の海外展開を次々と進めているが、研究開発から最終組み立てに至るフルセットは、依然として国内に維持され、海外生産拠点で従事する従業員の教育の場ともなっている。

○この点が、開発拠点と製造拠点が異なる場所に立地しうるモジュール型産業と大きく異なる特徴であり、こうしたモノづくりに係る様々な部品・素材の製造・加工の機能、開発におけるすり合わせの能力、そして製造工程を支える現場力を、これからの成長戦略にどう生かしていくかが、第一の視点となる。

②海外で稼ぐ力を強くする

○愛知県は、我が国の貿易収支を支える大きな役割を果たし、また、愛知県の産業経済自体も海外の需要に大きく負っている。

○そうした意味では、今後のアジア等の経済発展は大きなチャンスともいえるが、一方で、人口減少に伴う国内市場の縮小も考えあわせると、アジア等の成長する市場に生産拠点を移し、国内での生産が海外からの輸入に置き換わっていく、産業空洞化のおそれは決して否定できない。

○そうした中で、国内雇用を確保するためには、いかに①で指摘したモノづくりの力を維持・強化していくかが非常に重要になるが、同時に、愛知県に拠点を置く企業が、フルセットの

生産体制を海外でも展開し、成長市場で稼ぐ外貨を愛知県内に還流させることも重要な視点になる。

- すでに、自動車産業では、部品工場を含めて海外展開を進めているが、自動車産業に限らず、その他の産業でも、国内での中枢機能を維持しつつ、海外でも稼ぐスタイルをどう築いていくかが重要な視点になる。

③人口減少・少子高齢化など課題先進社会を見通す

- 愛知県は、人口減少に転じる時点は全国よりも遅くなる一方、高度成長期に多くの労働力を受け入れたことから、今後の高齢者の増加実数は非常に大きくなると見込まれる。人口減少・少子高齢社会は、労働力の確保、国内市場の縮小、貯蓄の減少ひいては投資余力の低下など、様々な課題をもたらす一方、医療、福祉や高齢者の余暇活動といった拡大する新たな市場を生み出す可能性も指摘されている。

- こうした人口減少・少子高齢社会の到来に伴う市場のほか、資源・エネルギー制約、自然災害への備えといった日本が直面する課題の解決を図るとともに、その過程で生み出される取組が、新たな成長産業の源になると言われており、課題解決の先進的取組を重視していく必要がある。

④モノづくり人材の蓄積を生かす

- 愛知県は製造業の特化係数が高く、高度成長期を支えた世代から現在に至るまで、自動車産業本体だけでなく、製造業の様々な業種の中に、現場を支える技能・技術を有する人材が蓄積されている。

- 一方で、熟練世代の退職や若者のモノづくり離れなどを背景に、そのモノづくり文化ともいえる技能・技術や現場力の継承が大きな課題となっており、その力を永続させていくことが重要な課題となっている。

⑤大都市圏としての強みを生かす

- 愛知県は、その後背圏を含めれば1千万人もの人口集積を有し、日本の三大都市圏の一角を占めている。将来的には、リニア中央新幹線で首都圏や関西圏と結ばれ、世界にも例のない巨大な都市ベルトを形成することになる。

- 世界的に、知的価値を創造する大都市に成長力、経済力が集中していく傾向がみられ、また、国内的にも人口減少が進む中で、都市への人口集中が再加速する可能性を考え合わせても、企業や人材、モノ、情報を引き付ける大都市圏としての力を高めることがますます重要になってくる。

2. 愛知・名古屋の成長戦略の方向性

○上記の1で示した視点を踏まえ、愛知・名古屋の成長戦略の方向性として、以下の7点を提示する。

1. 産業空洞化を乗り越え、グローバルに稼ぐモノづくり立県として日本経済を牽引する
2. 今後の成長分野を見定めた産業の新展開を図る
3. 日本一のモノづくりを現場で支える人材の技能・技術を継承・発展させる
4. 知的価値を生み出し、世界で活躍する高度人材・グローバル人材を育成・獲得する
5. 新たなニーズを受け止める多様な産業を創出・振興し、雇用を生み出す
6. 人口減少・少子高齢社会を支える全員参加型社会をつくる
7. 内外から企業や人、モノ、情報呼び込む魅力ある交流大都市圏をつくる